

保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金について

1 目的等

- 平成29年の地域包括ケア強化法の成立を踏まえ、客観的な指標による評価結果に基づくインセンティブとして、平成30年度より保険者機能強化推進交付金が創設され、保険者による高齢者の自立支援、重度化防止の取り組みを推進。令和2年度からは、介護保険保険者努力支援交付金が創設され、介護予防・健康づくり等に資する取組を重点的に評価することにより、これらの取り組みの強化が図られる。
- 各市町村が行う自立支援・重度化防止の取組に対し、評価指標の達成状況(評価指標の総合得点)に応じ、交付金が交付される。
- 令和5年度においては、国の行政事業レビューや予算執行調査などの結果を踏まえ、アウトカムに関連するアウトプット・中間アウトカム指標の充実や、評価指標の縮減など、制度の効率化・重点化を図るための見直しが行われた。
- 交付金は、国、県、市及び第2号保険料の法定負担割合に加えて、介護保険特別会計に充当し、地域支援事業、市町村特別給付、保健福祉事業など、高齢者の自立支援、重度化防止、介護予防等に必要な事業を充実。
- 令和7年度国当初予算額として
 保険者機能強化推進交付金 :101億円(都道府県分6億円、市町村分95億円) ※R6:100億円
 介護保険保険者努力支援交付金:200億円(都道府県分10億円、市町村分190億円) ※R6:200億円

2 令和7年度交付金に係る評価指標該当状況調査結果概要
得点・順位等

種別	岡崎市／配点	全国平均点	全国中央値	全国順位 (1,741)	中核市 (62)	県内 (54)	交付金額 (千円)
保険者機能強化推進交付金	235点／400点	219.3点	224点	722位	37位	18位	22,173
介護保険保険者努力支援交付金	269点／400点	215.8点	221点	177位	9位	10位	53,139
合計	504点／800点	435.0点	446点	429位	29位	15位	75,312

保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金

参考：厚生労働省資料

令和7年度当初予算案 (一般財源) 101 億円 (100億円)
(消費税財源) 200 億円 (200億円)

1 事業の目的

- 平成29年の地域包括ケア強化法の成立を踏まえ、客観的な指標による評価結果に基づく財政的インセンティブとして、平成30年度より、保険者機能強化推進交付金を創設し、保険者（市町村）による高齢者の自立支援、重度化防止の取組や、都道府県による保険者支援の取組を推進。令和2年度からは、介護保険保険者努力支援交付金（社会保障の充実分）を創設し、介護予防・健康づくり等に資する取組を重点的に評価することにより、これらの取組を強化。
- 令和5年度においては、秋の行政事業レビューや予算執行調査などの結果を踏まえ、アウトカムに関連するアウトプット・中間アウトカム指標の充実や、評価指標の縮減など、制度の効率化・重点化を図るための見直しを行ったところであり、令和6年度以降、引き続き保険者機能強化の推進を図る。

2 事業スキーム・実施主体等

- 各市町村が行う自立支援・重度化防止の取組及び都道府県が行う市町村支援の取組に対し、評価指標の達成状況（評価指標の総合得点）に応じて、交付金を交付する。
- ※ 介護保険保険者努力支援交付金（消費税財源）は、上記の取組の中でも介護予防・日常生活支援総合事業及び包括的支援事業（包括的・継続的ケアマネジメント支援事業、在宅医療介護連携推進事業、生活支援体制整備事業、認知症総合支援事業）に用途範囲を限定。

【実施主体】 都道府県、市町村

【交付金の配分に係る主な評価指標】

（保険者機能強化推進交付金）

- ① 事業計画等によるPDCAサイクルの構築状況
- ② 介護給付の適正化の取組状況
- ③ 介護人材確保の取組状況

（介護保険保険者努力支援交付金）

- ① 介護予防日常生活支援の取組状況
- ② 認知症総合支援の取組状況
- ③ 在宅医療介護連携の取組状況

【交付金の活用方法】

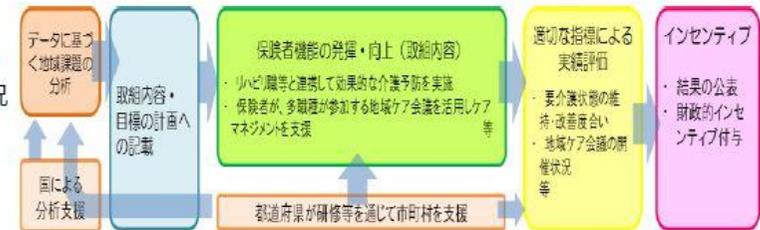
- 都道府県分：高齢者の自立支援・重度化防止等に向けて市町村を支援する各種事業（市町村に対する研修事業、リハビリ専門職等の派遣事業等）の事業費に充当。
- 市町村分：国、都道府県、市町村及び第2号保険料の法定負担割合に加えて、介護保険特別会計に充当し、地域支援事業、市町村特別給付、保健福祉事業など、高齢者の自立支援、重度化防止、介護予防等に必要な事業を充実。

【補助率・単価】 定額（国が定める評価指標の達成状況（評価指標の総合得点）に応じて、交付金を配分）

【負担割合】 国10/10

【事業実績】 交付先47都道府県及び1,571保険者（令和5年度）

＜交付金を活用した保険者機能の強化のイメージ＞



保険者機能強化推進交付金の見直し

参考：厚生労働省資料

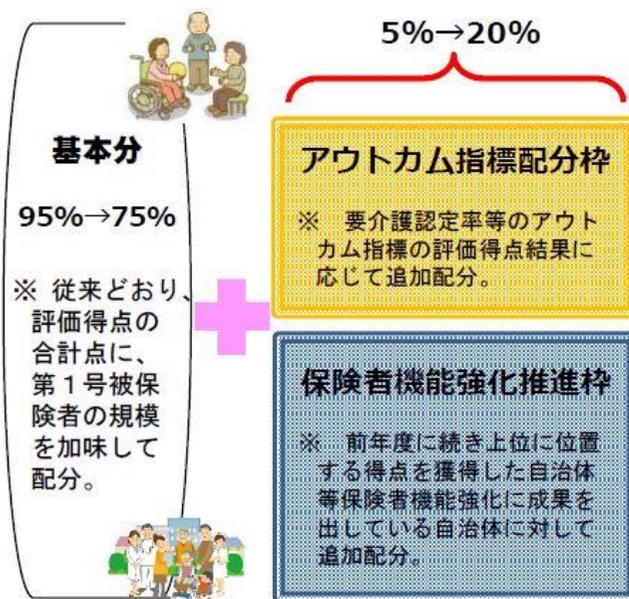
令和7年度当初予算案 101億円（100億円） ※（）内は前年度当初予算

1 事業の目的

- 保険者機能強化推進交付金については、令和5年度において、令和4年度秋の行政事業レビューや予算執行調査などの結果を踏まえ、アウトカム指標に関連するアウトプット・中間アウトカム指標の充実や、評価指標の重点化・縮減等の見直しを実施した。
- 令和6年度においては、交付金の配分に当たって、保険者機能強化に取り組む自治体に対するインセンティブを一層強化し、メリハリの効いた交付金配分を行う観点から、**要介護認定率の改善等アウトカムの状況が上位に位置する自治体**や、**評価得点が複数年にわたり上位に位置する自治体**など、一定の要件に該当する自治体に対し、追加的な配分を行う枠組みを取り入れたところであり、令和7年度においては、この**アウトカム指標等に着目した配分の拡充**を行う(①)。
- 併せて、今般、地域包括ケアの構築に向けた基盤整備や取組の充実に既に一定程度取り組んでいる保険者を対象として、さらなる健康寿命の延伸に向け、**地域のデータ分析に基づき、自らターゲットとなる対象者、成果目標及び評価指標を設定した上で、当該成果を達成するために成果指向型の介護予防・健康づくりの取組を行う保険者に対する新たな支援の枠組み**を構築する(②)。

2 見直しの内容

① アウトカム指標等に着目した配分の拡充



② 成果指向型の保険者機能強化に向けた支援の構築(新規) 5%

【地域のデータ分析と課題の設定】

- ・ 地域の介護給付費の動向や、地域資源、医療・介護の健康づくりに関するデータ等に基づき、地域課題を把握。
- ・ 対象となるターゲット層（年齢・状態・性別等の具体的な住民層）、健康寿命の延伸につながる成果指向型の介護予防・健康づくりの目標

【具体的な支援方法及び評価指標の設定】

- ・ 目標とターゲット層に応じ、支援方法及び評価指標を設定

【指標の評価、事業の実施】

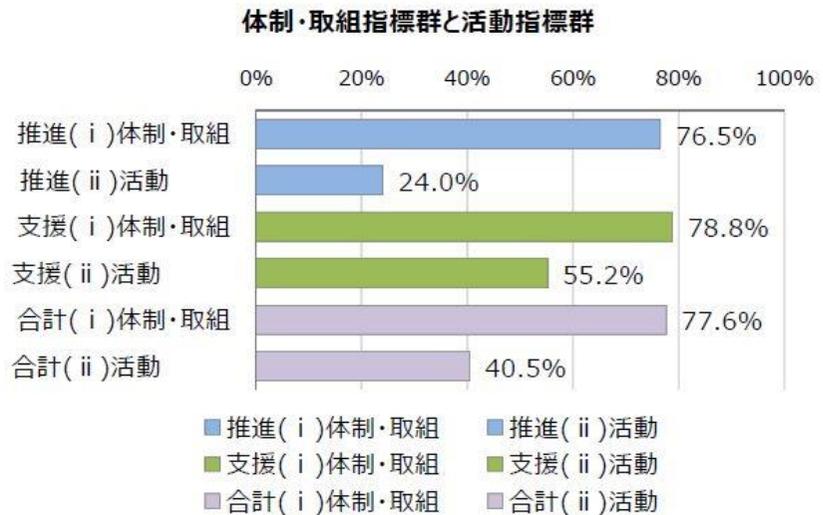
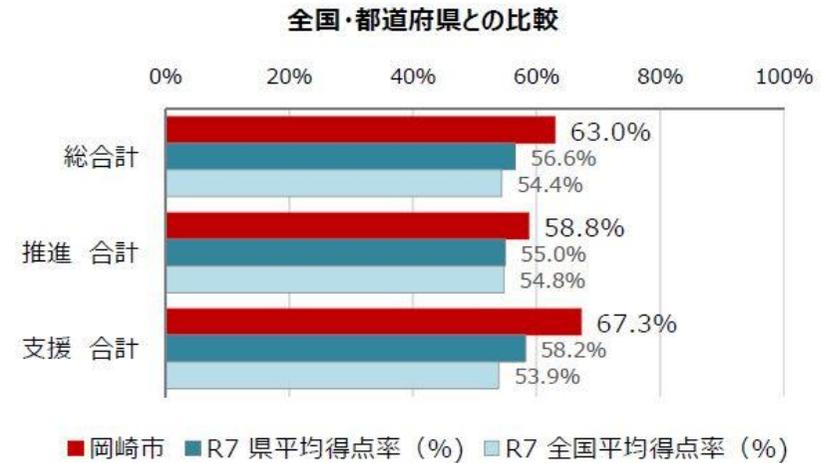
- ・ 指標の妥当性を評価した上で交付金の交付・事業の実施

【実績評価】

- ・ 適切な指標による実績評価

3 岡崎市の評価指標該当状況調査の状況

項目		岡崎市	R7 県平均 得点率 (%)	R7 全国平均 得点率 (%)
総合計		63.0%	56.6%	54.4%
推進 合計		58.8%	55.0%	54.8%
目標Ⅰ 持続可能な地域のあるべき姿をかたちにする	(i)体制・取組	56.3%	77.9%	77.3%
	(ii)活動	50.0%	30.6%	27.7%
	計	54.0%	60.9%	59.4%
目標Ⅱ 公正・公平な給付を行う体制を構築する	(i)体制・取組	100.0%	69.1%	69.6%
	(ii)活動	12.5%	47.2%	56.5%
	計	72.0%	62.1%	65.4%
目標Ⅲ 介護人材の確保その他のサービス提供基盤の整備を推進する	(i)体制・取組	71.9%	56.5%	60.7%
	(ii)活動	8.3%	31.0%	21.5%
	計	49.0%	47.4%	46.6%
目標Ⅳ 高齢者がその状況に応じて可能な限り自立した日常生活を営む		60.0%	49.5%	47.8%
支援 合計		67.3%	58.2%	53.9%
目標Ⅰ 介護予防/日常生活支援を推進する	(i)体制・取組	82.7%	66.0%	67.5%
	(ii)活動	58.3%	38.4%	42.0%
	計	71.0%	52.8%	55.3%
目標Ⅱ 認知症総合支援を推進する	(i)体制・取組	53.1%	57.1%	52.1%
	(ii)活動	50.0%	44.9%	36.6%
	計	52.0%	52.7%	46.5%
目標Ⅲ 在宅医療・在宅介護連携の体制を構築する	(i)体制・取組	100.0%	87.6%	78.4%
	(ii)活動	56.3%	56.9%	40.0%
	計	86.0%	77.8%	66.1%
目標Ⅳ 高齢者がその状況に応じて可能な限り自立した日常生活を営む		60.0%	49.5%	47.8%
推進 合計	(i)体制・取組	76.5%	67.9%	69.2%
	(ii)活動	24.0%	35.8%	34.4%
支援 合計	(i)体制・取組	78.8%	70.9%	66.2%
	(ii)活動	55.2%	45.5%	39.8%
総合計	(i)体制・取組	77.6%	69.3%	67.7%
	(ii)活動	40.5%	41.0%	37.2%



出典) 国立保健医療科学院「インセンティブ交付金指標分析ツール (R7 年度版)」

岡崎市実績の年度別推移（直近5年）

	R3	R4	R5	R6	R7
得点率	65.1%	65.4%	64.2%	66.1%	63.0%
県内順位	10	9	14	8	15
全国順位	249	221	344	221	429
総人口	386,252	385,355	384,422	383,915	—
高齢者人口	91,116	92,281	92,893	93,975	—
高齢化率	23.6%	23.9%	24.2%	24.5%	—

※R3-5は、推進+支援の得点

評価指標別得点状況

	保険者機能強化推進交付金										強化推進交付金合計	介護保険保険者努力支援交付金										努力支援交付金合計	推進・支援合計	全国順位
	目標Ⅰ 持続可能な地域のあるべき姿をかたちにする			目標Ⅱ 公正・公平な給付を行う体制を構築する			目標Ⅲ 介護人材の確保その他のサービス提供基盤の整備を推進する			目標Ⅳ 高齢者がその状況に応じて可能な限り自立した日常生活を営む（成果指標群）		目標Ⅰ 介護予防/日常生活支援を推進する			目標Ⅱ 認知症総合支援を推進する			目標Ⅲ 在宅医療・在宅介護連携の体制を構築する			目標Ⅳ 高齢者がその状況に応じて可能な限り自立した日常生活を営む（成果指標群）			
	I (i) 体制・取組指標群計	I (ii) 活動指標群計	I 合計	II (i) 体制・取組指標群計	II (ii) 活動指標群計	II 合計	III (i) 体制・取組指標群計	III (ii) 活動指標群計	III 合計	IV 合計		I (i) 体制・取組指標群計	I (ii) 活動指標群計	I 合計	II (i) 体制・取組指標群計	II (ii) 活動指標群計	II 合計	III (i) 体制・取組指標群計	III (ii) 活動指標群計	III 合計	IV 合計			
配点	64	36	100	68	32	100	64	36	100	100	400	52	48	100	64	36	100	68	32	100	100	400	800	
全国合計	86,095	17,331	103,426	82,414	31,456	113,870	67,652	13,473	81,125	83,290	381,711	61,150	35,095	96,245	58,050	22,920	80,970	92,804	22,294	115,098	83,290	375,603	757,314	
平均点	49.45	9.95	59.41	47.34	18.07	65.40	38.86	7.74	46.60	47.84	219.25	35.12	20.16	55.28	33.34	13.16	46.51	53.30	12.81	66.11	47.84	215.74	434.99	
中央値	52	9	62	52	20	68	40	6	48	50	224	37	20	57	34	12	47	58	14	71	50	221	446	
岡崎市	36	18	54	68	4	72	46	3	49	60	235	43	28	71	34	18	52	68	18	86	60	269	504	429

※ 令和7年度評価において、得点率は63.0%（前年度比△3.1%）、総合得点の全国順位は429位（前年度比△208位）、県内順位は15位（前年度比△7位）となった。

※ 得点が全国平均点を下回ったものは3指標群。

（保険者機能強化推進交付金＞目標Ⅰの体制・取組指標群、目標Ⅱ及び目標Ⅲの活動指標群）

※ 得点が全国平均点を大きく上回ったもの（平均点の1.5倍以上）は1指標群。

（保険者機能強化推進交付金＞目標Ⅰの活動指標群）

① 保険者機能強化推進交付金＞目標Ⅰ 持続可能な地域のあるべき姿をかたちにする＞(i)体制・取組指標群の状況

保険者機能強化推進交付金																																
目標Ⅰ 持続可能な地域のあるべき姿をかたちにする																																
(i) 体制・取組指標群																																
1				2				3												4												
地域の介護保険事業の特徴				事業計画の進捗状況				施策の実施状況の把握・改善												評価結果の活用												
ア				イ				ウ				エ				ア				イ				ウ				エ				
①				②				③				④				①				②				③				④				
配点	4	4	4	4	4	4	4	4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	4	4	4
全国合計	6,784	6,536	6,552	5,188	6,652	5,920	4,860	4,500	1,638	1,675	1,636	1,545	1,413	1,555	1,501	1,358	1,342	1,484	1,439	1,306	1,100	1,199	1,186	1,102	5,380	3,984	4,412	2,848				
平均点	3.90	3.75	3.76	2.98	3.82	3.40	2.79	2.58	0.94	0.96	0.94	0.89	0.81	0.89	0.86	0.78	0.77	0.85	0.83	0.75	0.63	0.69	0.68	0.63	3.09	2.29	2.53	1.64				
項目平均	14.39				12.60				12.91												9.55											
標準偏差	0.6	1.0	0.9	1.7	0.8	1.4	1.8	1.9	0.2	0.2	0.2	0.3	0.4	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	1.7	2.0	1.9	2.0				
該当市町村数	1,696	1,634	1,638	1,297	1,663	1,480	1,215	1,125	1,638	1,675	1,636	1,545	1,413	1,555	1,501	1,358	1,342	1,484	1,439	1,306	1,100	1,199	1,186	1,102	1,345	996	1,103	712				
該当率	97.42%	93.85%	94.08%	74.50%	95.52%	85.01%	69.79%	64.62%	94.08%	96.21%	93.97%	88.74%	81.16%	89.32%	86.21%	78.00%	77.08%	85.24%	82.65%	75.01%	63.18%	68.87%	68.12%	63.30%	77.25%	57.21%	63.35%	40.90%				
岡崎市得点	0	0	4	0	4	4	0	4	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1	4	4	0	0				
全国平均点との差	△ 3.90	△ 3.75	0.24	△ 2.98	0.18	0.60	△ 2.79	1.42	0.06	0.04	0.06	0.11	0.19	0.11	0.14	0.22	△ 0.77	△ 0.85	△ 0.83	△ 0.75	0.37	0.31	0.32	0.37	0.91	1.71	△ 2.53	△ 1.64				
	△ 10.39				△ 0.60				0.27				0.65				△ 3.20				1.37				△ 1.55							

(1) 体制・取組指標群(配点64点)

指 標		時点	回答欄	得点		
1	地域の介護保険事業の特徴を把握しているか。	ア 「地域包括ケア「見える化」システム」を活用し、サービス資源や給付費等の現状把握・分析等を行っている	2024年度実施(予定を含む)の状況を評価	×	0点	
		イ 日常生活圏域別の特徴を把握・整理している	評価	×	0点	
		ウ 地域の介護保険事業の特徴を踏まえ、相談窓口やサービスの種類・内容、利用手続などについて、住民に周知を行っている	評価	○	4点	
		エ 地域の介護保険事業の特徴を公表している	評価	×	0点	
2	介護保険事業計画の進捗状況(介護サービス見込量の計画値と実績値の乖離状況)を分析しているか。	ア 毎年度、計画値と実績値の乖離状況について、モニタリングを行っている	2024年度実施(予定を含む)の状況を評価	○	4点	
		イ モニタリングの結果を外部の関係者と共有し、乖離の要因やその対応策について、外部の関係者を含む議論の場で検証を行っている	評価	○	4点	
		ウ モニタリングの結果やイの検証を踏まえ、サービス提供体制について必要な見直しを行っている	評価	×	0点	
		エ モニタリングの結果を公表している	評価	○	4点	
3	自立支援、重度化防止等に関する施策について、実施状況を把握し、必要な改善を行っているか。	ア 毎年度、次の施策分野ごとに事業の実施状況を定量的に把握し、データとして整理・分析している	2024年度実施(予定を含む)の状況を評価	① 介護予防・生活支援サービス	○	1点
				② 一般介護予防事業	○	1点
				③ 認知症総合支援	○	1点
				④ 在宅医療・介護連携	○	1点
		イ 次の施策分野ごとに事業の効果を検証するための評価指標を定めている	2024年度実施(予定を含む)の状況を評価	① 介護予防・生活支援サービス	○	1点
				② 一般介護予防事業	○	1点
				③ 認知症総合支援	○	1点
				④ 在宅医療・介護連携	○	1点
		ウ イの指標に対する実績等を踏まえ、毎年度、次の施策分野ごとに課題の分析、改善・見直し等を行っている	2024年度実施(予定を含む)の状況を評価	① 介護予防・生活支援サービス	×	0点
				② 一般介護予防事業	×	0点
				③ 認知症総合支援	×	0点
				④ 在宅医療・介護連携	×	0点
エ 次の施策分野ごとにイの指標の達成状況を含む取組の成果を公表している	2024年度実施(予定を含む)の状況を評価	① 介護予防・生活支援サービス	○	1点		
		② 一般介護予防事業	○	1点		
		③ 認知症総合支援	○	1点		
		④ 在宅医療・介護連携	○	1点		
4	保険者機能強化推進交付金等に係る評価結果を関係者間で共有し、自立支援、重度化防止等に関する施策の遂行に活用しているか。	ア 年に1回以上、評価結果を庁内の関係者間で説明・共有する場がある	2024年度実施(予定を含む)の状況を評価	○	4点	
		イ アの場合には、庁内のみならず、外部の関係者が参画している	評価	○	4点	
		ウ アの場合における意見を、施策の改善・見直し等に活用している	評価	×	0点	
		エ 市町村において全ての評価結果を公表している	評価	×	0点	

② 保険者機能強化推進交付金＞目標Ⅱ公正・公平な給付を行う体制を構築する＞(ii)活動指標群の状況

保険者機能強化推進交付金									
目標Ⅱ 公正・公平な給付を行う体制を構築する									
(ii) 活動指標群									
1 ケアプラン点検の実施状況				2 医療情報との実合の実施状況					
ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ		
配点	4	4	4	4	4	4	4	4	
全国合計	4,872	3,480	2,088	696	5,080	5,080	5,080	5,080	
平均点	2.80	2.00	1.20	0.40	2.92	2.92	2.92	2.92	
項目平均	6.40				11.67				
標準偏差	1.8	2.0	1.8	1.2	1.8	1.8	1.8	1.8	
該当市町村数	1,218	870	522	174	1,270	1,270	1,270	1,270	
該当率	69.96%	49.97%	29.98%	9.99%	72.95%	72.95%	72.95%	72.95%	
岡崎市得点	4	0	0	0	0	0	0	0	
全国平均点との差	1.20	△ 2.00	△ 1.20	△ 0.40	△ 2.92	△ 2.92	△ 2.92	△ 2.92	
	△ 2.40				△ 11.67				

(ii) 活動指標群(配点32点)

1	ケアプラン点検の実施割合	2023年度実績を評価		○ 右欄に2023年度における実際のケアプラン点検数を記載。	ケアプラン点検数を記載。※単位の記載は不要	
		ア 上位7割	イ 上位5割			
		イ 上位5割			138	
		ウ 上位3割				
		エ 上位1割				
2	医療情報との実合の実施割合	2023年度実績を評価		○ 右欄①に2023年度における実際の点検件数を記載。 ○ 右欄②に2023年度における出力件数を記載。	①実際の点検件数 ②出力件数 ③自動計算(単位:%) ※①・②ともに単位の記載は不要	
		ア 上位7割				48
		イ 上位5割				3958
		ウ 上位3割				1.2%
		エ 上位1割				

③ 保険者機能強化推進交付金＞目標Ⅲ介護人材の確保その他のサービス提供基盤の整備を推進する＞(ii)活動指標群の状況

保険者機能強化推進交付金													
目標Ⅲ 介護人材の確保その他のサービス提供基盤の整備を推進する													
(ii) 活動指標群													
1 介護の仕事の魅力に関する研修の実施状況				2 介護人材の定着・資質向上に関する研修の実施状況				3 介護支援専門員に対する研修の実施状況					
ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ		
配点	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
全国合計	1,626	813	486	162	1,881	939	564	186	3,384	1,998	1,080	354	
平均点	0.93	0.47	0.28	0.09	1.08	0.54	0.32	0.11	1.94	1.15	0.62	0.20	
項目平均	1.77				2.05				3.91				
標準偏差	1.4	1.1	0.9	0.5	1.4	1.2	0.9	0.6	1.4	1.5	1.2	0.8	
該当市町村数	542	271	162	54	627	313	188	62	1,128	666	360	118	
該当率	31.13%	15.57%	9.30%	3.10%	36.01%	17.98%	10.80%	3.56%	64.79%	38.25%	20.68%	6.78%	
岡崎市得点	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
全国平均点との差	2.07	△ 0.47	△ 0.28	△ 0.09	△ 1.08	△ 0.54	△ 0.32	△ 0.11	△ 1.94	△ 1.15	△ 0.62	△ 0.20	
	1.23				△ 2.05				△ 3.91				

(ii) 活動指標群(配点36点)

1	高齢者人口当たりの地域住民に対する介護の仕事の魅力を伝えるための研修の修了者数	2023年度実績を評価		○ 右欄に2023年度における研修の修了者数を記載。	研修の修了者数を記載。※単位の記載は不要	
		ア 上位7割	イ 上位5割			
		ウ 上位3割			8	
		エ 上位1割				
2	高齢者人口当たりの介護人材(介護支援専門員を除く。)の定着・資質向上を目的とした研修の修了者数	2023年度実績を評価		○ 右欄に2023年度における研修の修了者数を記載。	研修の修了者数を記載。※単位の記載は不要	
		ア 上位7割				
		イ 上位5割				
		ウ 上位3割				
		エ 上位1割			0	
3	介護支援専門員を対象としたケアマネジメントの質の向上に関する研修(介護支援専門員法定研修を除く。)の総実施日数	2023年度実績を評価		○ 右欄に2023年度における研修の総実施日数を記載。	研修の総実施日数を記載。※単位の記載は不要	
		ア 上位7割				
		イ 上位5割				
		ウ 上位3割				
		エ 上位1割			0	

④ 保険者機能強化推進交付金＞目標Ⅰ 持続可能な地域のあるべき姿をかたちにする＞(ii)活動指標群の状況

保険者機能強化推進交付金												
目標Ⅰ 持続可能な地域のあるべき姿をかたちにする												
(ii) 活動指標群												
	1				2				3			
	今年度の評価点				後期高齢者と給付費の伸び率比較				PFS委託事業数			
	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ
配点	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
全国合計	3,669	2,628	1,587	534	3,648	2,607	1,563	519	243	243	72	27
平均点	2.11	1.51	0.91	0.31	2.10	1.50	0.90	0.30	0.14	0.14	0.04	0.02
項目平均	4.84				4.79				0.34			
標準偏差	1.4	1.5	1.4	0.9	1.4	1.5	1.4	0.9	0.6	0.6	0.3	0.2
該当市町村数	1,223	876	529	178	1,216	869	521	173	81	81	24	9
該当率	70.25%	50.32%	30.38%	10.22%	69.84%	49.91%	29.93%	9.94%	4.65%	4.65%	1.38%	0.52%
岡崎市得点	3	3	3	0	3	3	3	0	0	0	0	0
	9				9				0			
全国平均点との差	0.89	1.49	2.09	△ 0.31	0.90	1.50	2.10	△ 0.30	△ 0.14	△ 0.14	△ 0.04	△ 0.02
	4.16				4.21				△ 0.34			

指標1 今年度の評価点

保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金の評価得点が全市町村中の上位3割となったことによる。

指標2 後期高齢者と給付費の伸び率比較

2017年→2023年における後期高齢者数の伸び率(A)から、給付費の伸び率(B)を除いて得た値が、全市町村中の上位3割となったことによる。

$$(A)1.253 / (B)1.082 = 1.158$$

(参考:全国平均 1.083)

4 まとめ

- ・ 全国順位は429位となり、全体の上位3割に含まれているものの、直近5年で最も低い順位となりました。予算的な比率の大きい介護保険保険者努力支援交付金の全国順位が高いため(177位)、交付金交付額は75,312千円(前年度比△2,220千円)と大幅な減額は免れましたが、今後の交付額算定において更にアウトカム指標分配枠や成果志向型分配枠が重要視されることを視野に入れた体制の構築や取組みを推進する必要があります。
- ・ 得点が全国平均点を下回った3つの指標群については、費用対効果や取組方法の見直し・効率化について検討します。
- ・ 各事業の実施にあたっては、保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金に係る評価指標該当状況調査の結果も踏まえ、PDCAサイクルに基づく進捗管理を行います。

高齢者在宅福祉サービスの実施状況について

第9期地域包括ケア計画

基本目標4 在宅生活の支援

(I) 在宅生活を支える支援の充実

1 見守り配食サービス

65歳以上の高齢者で要介護認定を受けている方等に1日1食（昼食又は夕食）を配達することにより、高齢者の安否確認を行う。

○対象者

■75歳以上のひとり暮らしの高齢者又は高齢者のみの世帯の方

■65歳以上75歳未満で次のいずれかの身体状況に該当する方

- ・要介護1～5の認定を受けている
- ・身体障がい者手帳1・2級を受けている
- ・精神障がい者保健福祉手帳1・2級を受けている
- ・療育手帳A・B判定を受けている
- ・要支援1・2の認定を受けている（運転免許証を自主返納した方に限る）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
年間配食数	177,065食	188,733食	205,093食
委託料	51,456,435円	67,330,050円	73,169,600円
利用者数	700人	796人	815人

2 緊急通報装置設置（貸与）

在宅のひとり暮らし高齢者等の自宅に緊急通報装置を設置し、高齢者等が家庭内で急病、事故等のため緊急に救護を必要とする場合、装置を用いて専門業者に通報し、専門業者は、救急車の手配と協力員への支援要請を行う。

○対象者

■次の全てに該当する方

- ・65歳以上のひとり暮らし
- ・既往症、疾患、障がい等により、緊急な救護を必要とする状態に陥る可能性が高い
- ・固定電話回線を所持している

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
設置台数 (年度末時点)	345 台	342 台	339 台
委託料	3,988,327 円	4,662,468 円	4,794,988 円

※撤去費を含む

緊急通報装置の救急要請の件数

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
通報件数	476 件	386 件	369 件
救急要請（救急車出動あり）	55 件	57 件	39 件
救急要請（救急車出動なし）	41 件	12 件	32 件
相談のみ（健康相談など）	380 件	317 件	298 件

3 難聴高齢者補聴器購入費補助

身体障がい者手帳の交付対象にならない軽中等度難聴の高齢者に対し、補聴器購入費の一部を補助する。

補聴器一台の本体価格の2分の1に相当する額（上限2万円）

○対象者

■次の全てに該当する方

- ・65歳以上
- ・聴覚障がいによる身体障がい者手帳の交付を受けていない
- ・耳鼻咽喉科の医師の診断を受け、補聴器が必要とされた
（基準：両耳の聴力レベルが30db以上70db未満「4分法での測定値」）
- ・対象者の世帯全員が、市民税が非課税世帯

	令和6年度
利用者数	31 人
給付額	620,000 円

(2) 家族介護支援の充実

1 家族介護用品購入助成券(おむつ券)

月額 3,000 円分の家族介護用品購入助成券を支給

助成券は、申請日の翌月から 4 月、10 月の年 2 回に分けて郵送で支給する。

○対象者

■常時紙おむつが必要で、在宅で介護を受けており、次の全てに該当する方（医療入院、介護保険施設等へ入所中は対象外）

- ・要介護 3、要介護 4、要介護 5 の認定を受けている

（申請時有効な認定期間があること）

- ・おむつを利用して介護を受けている

- ・対象者が市民税非課税

	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
支給者数	8,219 人	8,813 人	8,707 人
(延)	685 (人/月)	734 (人/月)	726 (人/月)
給付額	24,644,869 円	26,425,540 円	23,508,900 円

※令和 6 年度から、月額 2,700 円に変更

2 在宅ねたきり高齢者等見舞金

月額 5,000 円を 4 月、10 月にそれぞれの前月までの見舞金を支給

○対象者

■65 歳以上で在宅の介護を受けており、次の全てに該当する方（医療入院、介護保険施設等へ入所中は対象外）

- ・要介護 4、要介護 5 の認定を受けている方

（申請時有効な認定期間があること）

- ・対象者が市民税非課税の方

	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
支給者数	4,230 人	4,381 人	4,512 人
(延)	(353 人/月)	(365 人/月)	(376 人/月)
給付額	21,150,000 円	21,905,000 円	22,560,000 円

3 布団丸洗い乾燥・寝具貸与

※布団丸洗い乾燥、寝具貸与はどちらか一方の利用

(1) 布団丸洗い乾燥

布団の丸洗い、殺菌、脱臭、乾燥を行う。

(丸洗い：7月、殺菌・脱臭：12月、乾燥：4月・9月・2月)

○対象者

■在宅ねたきり高齢者等見舞金の受給資格を有する方

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
枚数	924枚	940枚	788枚
委託料	2,421,688円	2,532,404円	2,369,406円

(2) 寝具貸与

掛布団、敷布団、毛布、枕、掛布、敷布、枕カバー（各1枚）を毎月貸与

○対象者

■在宅ねたきり高齢者等見舞金の受給資格を有する方

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
セット数	140セット	163セット	192セット
委託料	641,300円	828,740円	1,166,440円

4 訪問理容サービス（出張助成）

理容店、美容店が自宅に訪問し、調髪等を受ける訪問理容サービス出張助成券を1回、2,000円（年間、最大6枚）を支給

○対象者

■在宅ねたきり高齢者等見舞金の受給資格を有する方

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実利用人数	73人	66人	42人
延利用人数	78人	66人	96人
給付額	156,000円	132,000円	192,000円

※令和元年度まで1回1,000円、令和2年度から1回2,000円

※令和6年度から、美容店も参入

(3) 住まいの充実

1 家具転倒防止金具の取付け

地震による家具の転倒事故を防止するため、転倒防止金具の取付けを行う。

(1世帯1回限り5家具まで)

○対象者

■次のいずれかに該当する方

- ・65歳以上の高齢者のみの世帯の方
- ・要介護3～5の認定を受けている方
- ・65歳以上で生活保護を受けている方
- ・身体障がい者手帳1・2級、療育手帳A判定、精神障がい者保健福祉手帳1級のいずれかの交付を受けている方

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
取付件数	18件	52件	48件
委託料	238,095円	783,398円	771,936円

高齢者在宅福祉サービスの目標指標の変更について

○見守り配食サービス延べ配食回数(回)

対象要件を見直した。

(令和6年度まで)

- 75歳以上のひとり暮らしの高齢者又は高齢者のみの世帯の方
- 65歳以上75歳未満で次のいずれかの身体状況に該当する方
 - ・要介護1～5の認定を受けている方
 - ・身体障がい者手帳1・2級を受けている方
 - ・精神障がい者保健福祉手帳1・2級を受けている方
 - ・療育手帳A・B判定を受けている方
 - ・要支援1・2の認定を受けている方（運転免許証を自主返納した方に限る）
- 2親等以内の親族が、日常的に見守り可能な隣接する建物に居住・往来している場合は、対象外

(令和7年度から)

- 次の全てに該当する方
 - ・75歳以上のひとり暮らしの方
 - ・対象者が市民税非課税の方
- 2親等以内の親族が、日常的に見守り可能な隣接する建物に居住・往来している場合は、対象外

- ・2025年度 183,000回 ⇒108,000回
- ・2026年度 186,000回 ⇒ 88,000回

○ねたきり高齢者等見舞金支給延べ人数(人)

令和7年度から、事業を廃止した。

- ・2025年度 4,750人 ⇒ 0人
- ・2026年度 5,000人 ⇒ 0人